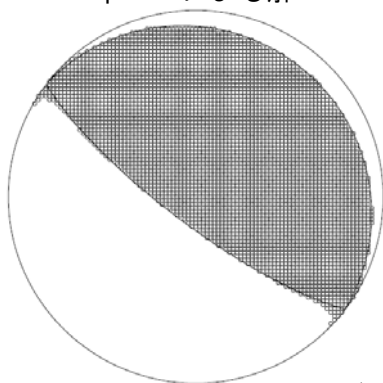


4月7日 インドネシア、スマトラ北部の地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

W-phase による解

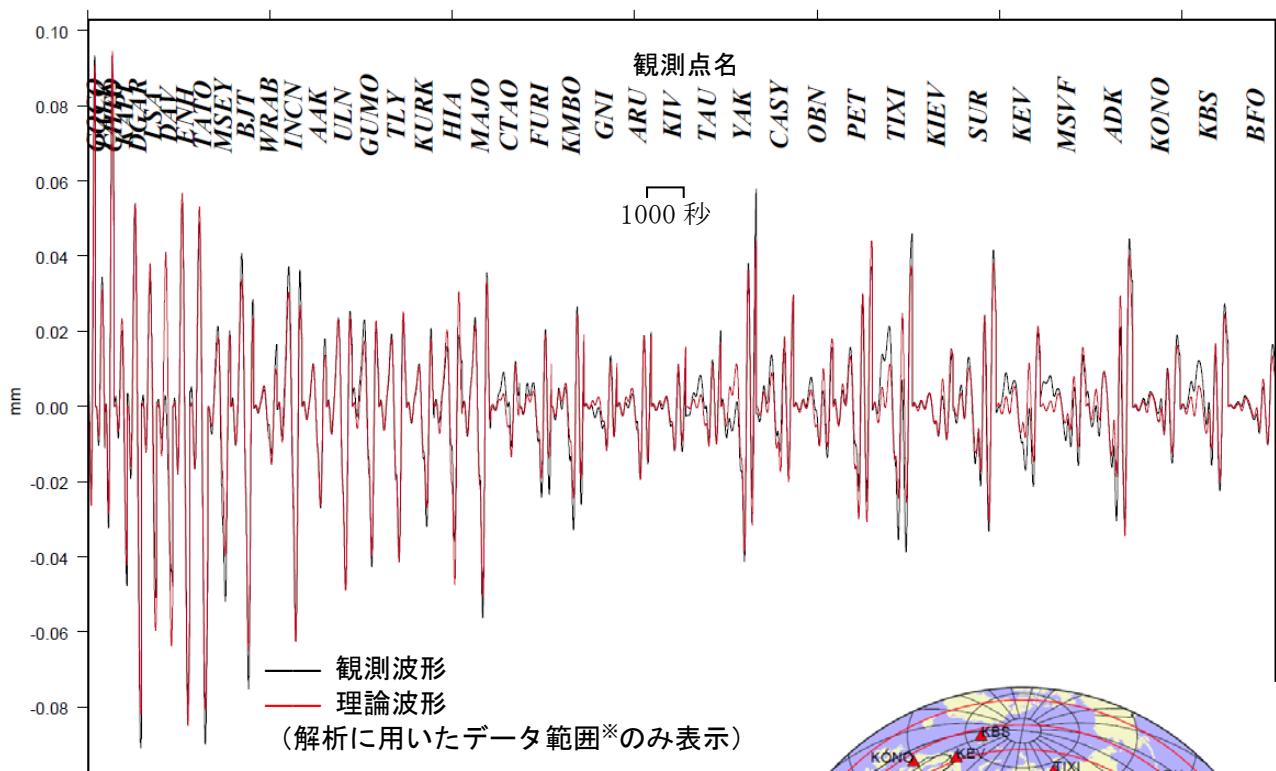


Mw7.7(7.67)

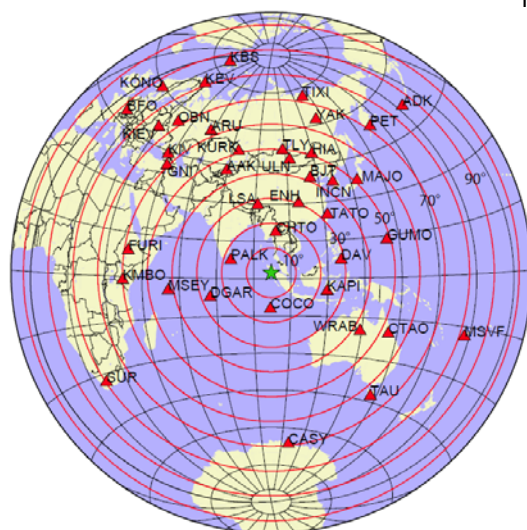
2010年4月7日7時15分(日本時間)にインドネシア、スマトラ北部で発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、Mwとも、Global CMT などの他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mwは7.7であった。最適位置はN1.860, E96.532となった。

W-phase の解析では、震央距離 $10^{\circ} \sim 90^{\circ}$ までの観測点の上下動成分を用い、200~1000秒のフィルターを使用した。

注)W-phase とはP波からS波付近までの長周期の実体波を指す。



※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離(度)としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。



解析に使用した観測点配置

(W-phase に関する参考文献)
Kanamori, H and L. Rivera (2008): Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。また、解析に使用したプログラムは金森博士に頂いたものを使用しました。記して感謝します。